

株式会社サンエイ

2022年2月期 決算説明資料

商号	株式会社サンエー
創業	1950年1月5日
会社設立	1970年5月28日
資本金	37億円
代表者	代表取締役会長 折田 譲治、 代表取締役社長 上地 哲誠
本社所在地	〒901-2733 沖縄県宜野湾市大山7丁目2番10号
事業内容	食料品と衣料品ならびに家電・日用雑貨等の住居関連用品の小売業
従業員数	1,791人 ※2022年2月末現在、当社から当社グループへの出向者を含む
連結子会社	(株)ローソン沖縄、(株)サンエー浦添西海岸開発、(株)サンエーパルコ

当社の前身は、創業者故折田喜作が1950年1月、沖縄県平良市（現：宮古島市）に創業した個人経営の雑貨店「オリタ商店」であります。

- 1970年5月 沖縄県那覇市安里に株式会社サンエーを設立（資本金50千ドル）
- 1970年7月 沖縄県那覇市安里に1号店「那覇店」を開店
- 1972年5月 本土復帰に伴う通貨の切換えにより、資本金は24,400千円となる
- 1977年6月 食品部門を開設
- 1982年9月 サンエー運輸株式会社（非連結子会社）を設立
- 1984年11月 「大山流通センター」を開設、DCを稼働
- 1985年5月 沖縄県宜野湾市大山に本社を移転
- 1985年6月 「生鮮加工センター」（現：「食品加工センター」）を開設
- 1985年11月 沖縄県浦添市に郊外型S C「マチナトショッピングセンター」（現：「マチナトシティ」）を開店
- 1989年9月 ニチリウ（日本流通産業株式会社）グループに加盟
- 1992年9月 食品加工センター内に食品工場を稼働
- 1995年4月 株式会社ダイイチ（現：株式会社エディオン）とFC契約を締結し、家電販売を開始
- 1998年10月 「サンエーカード」（ポイントカード）を導入
- 2000年9月 日本証券業協会に店頭登録
- 2002年1月 株式会社ジョイフルとF C 契約を締結し、レストラン「ジョイフル」1号店（FC）を開店
- 2002年10月 「那覇メインプレイス」を開店
- 2005年2月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年7月 沖縄県宜野湾市にN S C 1号店「大山シティ」を開店
- 2006年2月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2006年7月 I S O 2 2 0 0 0 認証取得（食品加工センター）
- 2006年10月 ドラッグストア「マツモトキヨシ」1号店（FC）を開店
- 2009年12月 株式会社ローソンとの合併会社「株式会社ローソン沖縄」（連結子会社）が運営を開始
- 2012年7月 「東急ハンズ」1号店（FC）を開店
- 2013年8月 株式会社良品計画と「無印良品」ライセンス・ストア基本契約を締結し、同年10月に1号店を開店
- 2014年10月 株式会社フェニックスとサブライセンス契約を締結し、「ピザハット Express（エクスプレス）」1号店を開店
- 2015年11月 「株式会社サンエー浦添西海岸開発」（連結子会社）を設立
- 2016年12月 株式会社パルコとの合併会社「株式会社サンエーパルコ」（連結子会社）を設立
- 2019年6月 「浦添西海岸PARCO CITY」を開店、「アカチャンホンポ」（パッケージライセンス）、「リトルマーメイド」（F C）の1号店を開店

店舗の状況

※2022年2月末現在



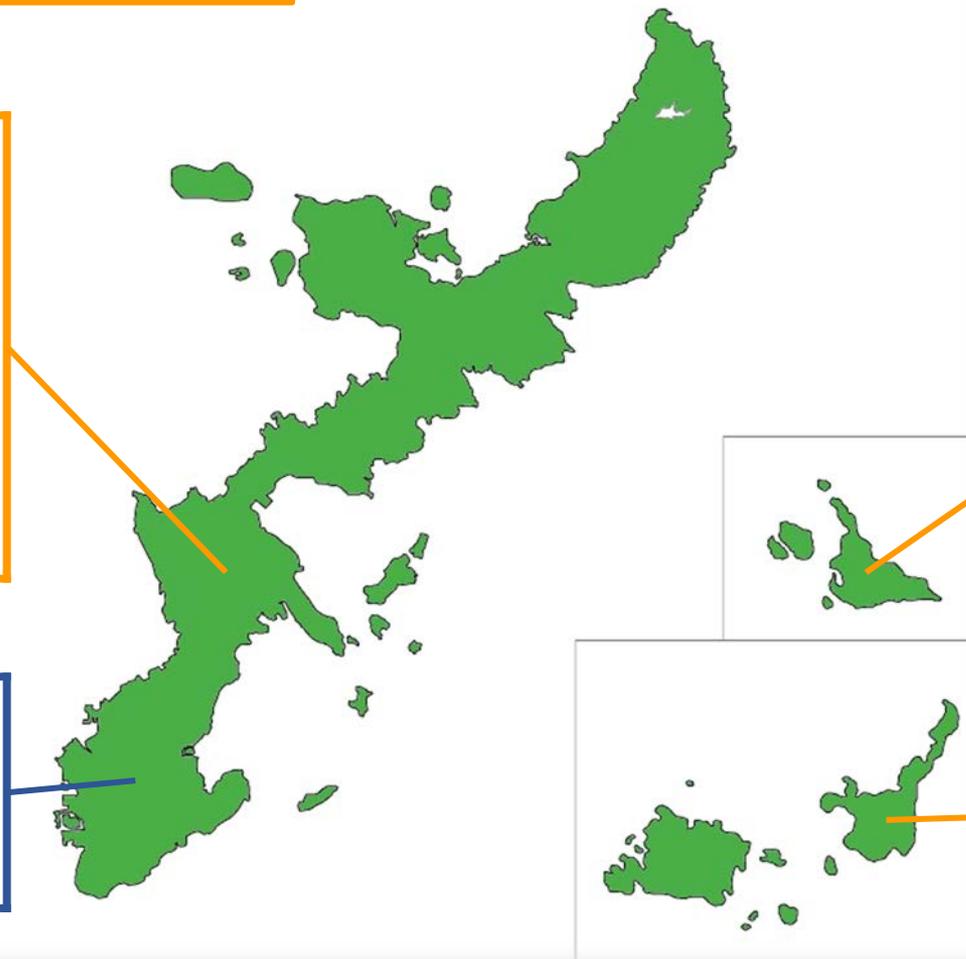
店舗数 合計 83店舗 (単体)

沖縄本島

総合店舗	:	22
衣料・住関連店舗	:	1
食品店舗	:	43
外食店舗	:	8
ドラッグストア	:	2

沖縄本島

コンビニ 直営店	:	3
FC店	:	257



宮古島

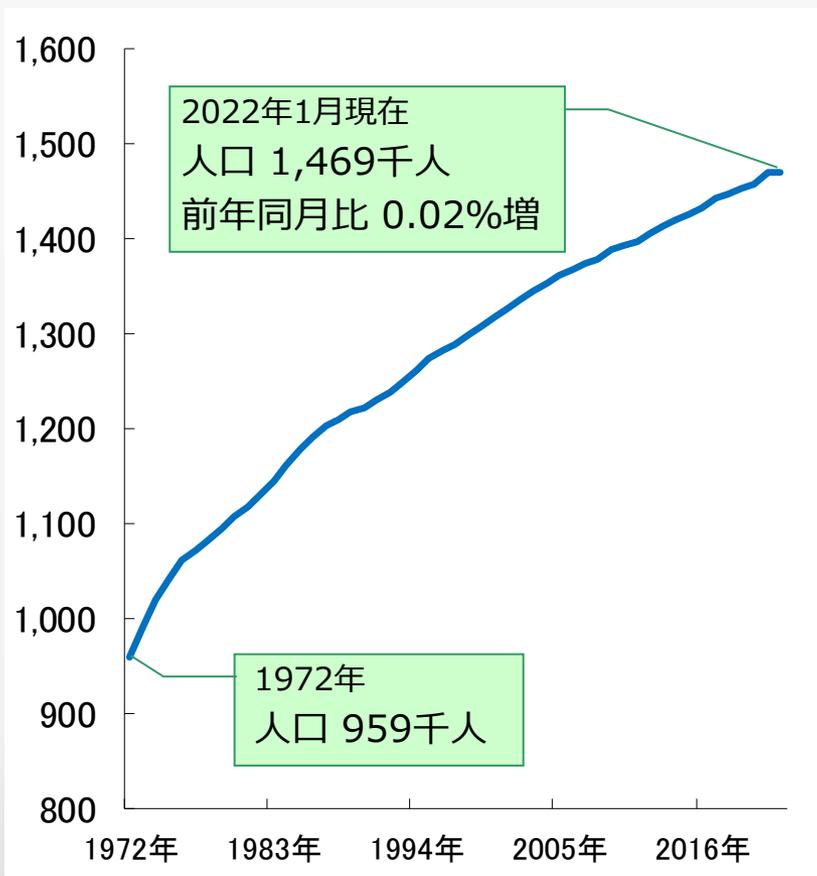
総合店舗	:	1
食品店舗	:	2
外食店舗	:	2

石垣島

総合店舗	:	1
外食店舗	:	1

沖縄県の人口は継続増加、全国一の出生率、若い層が多い

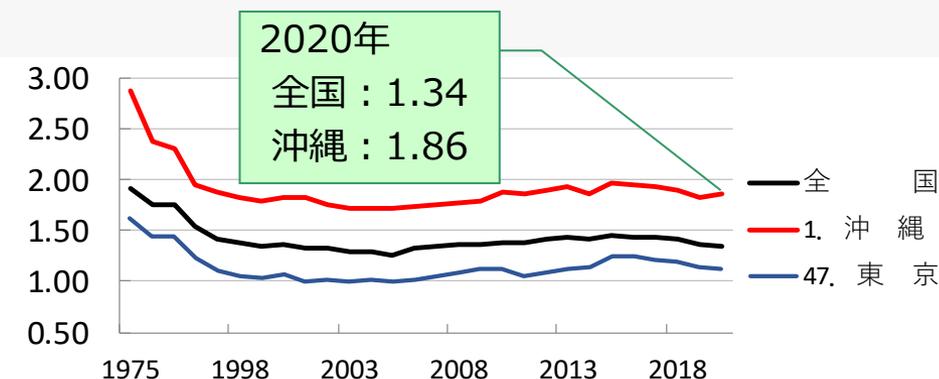
人口推移（1972年～2022年1月）



(出所：沖縄県企画部統計課「沖縄県推計人口」)

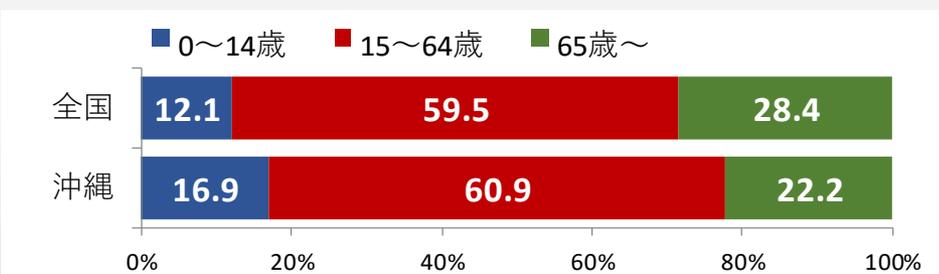
合計特殊出生率（1975年～2020年）

※合計特殊出生率：1人の女性が一生に産む子供の数の平均



(出所：厚生労働省「人口動態調査」)

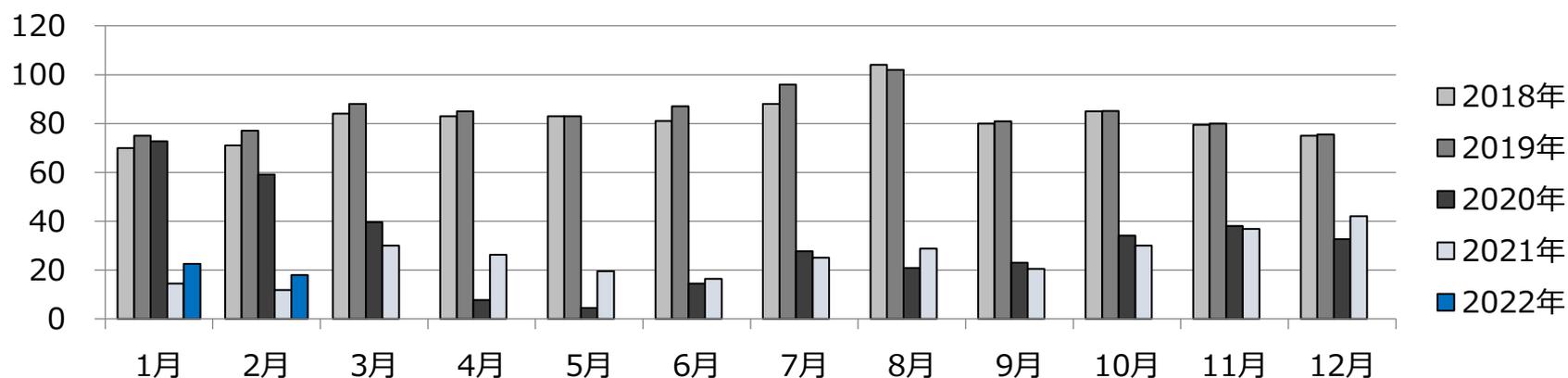
人口構成（2019年10月）



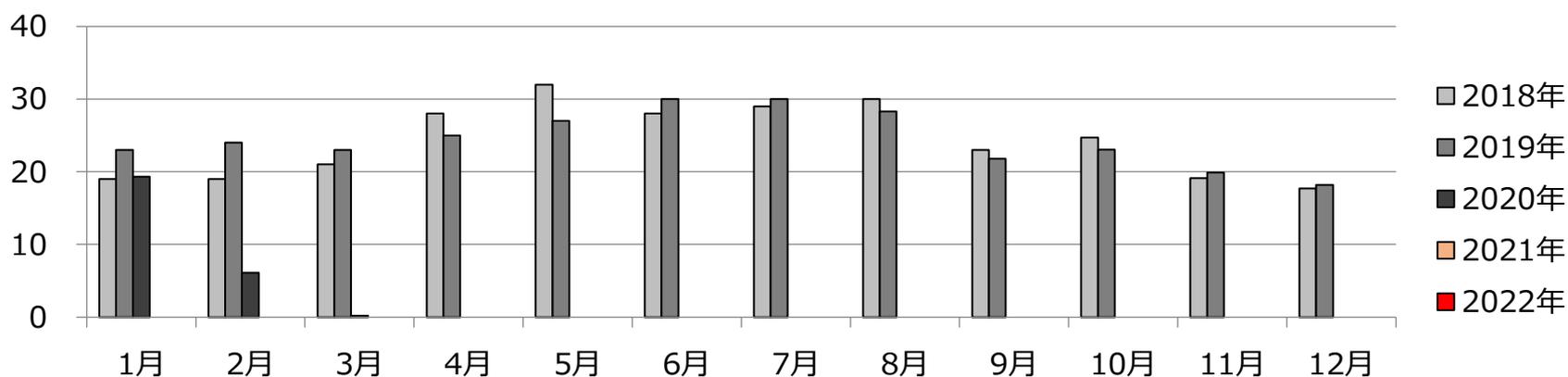
(出所：総務省統計局「都道府県、年齢3区分別人口の割合」)

2020年1月以降、観光客数は新型コロナウイルスの影響等で急激に減少

入域観光客数の月別推移（国内・外国合計）



入域観光客数の月別推移（外国人）



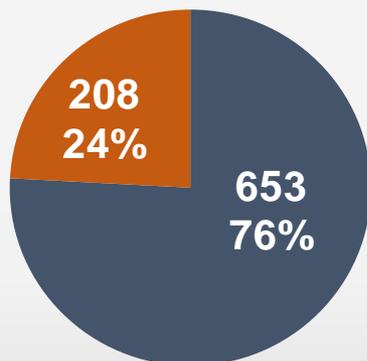
（出所：沖縄県観光政策課）

入域観光客数の推移（暦年：2016年～2021年）

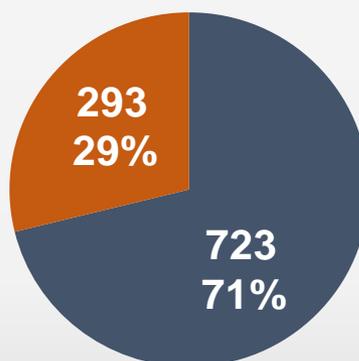


■ 国内 ■ 海外

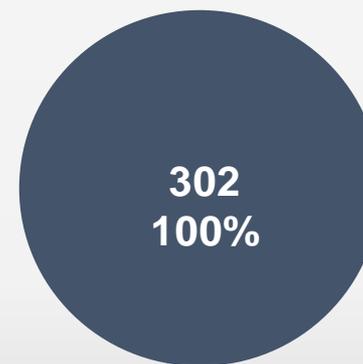
(単位：万人)



2016年



2019年



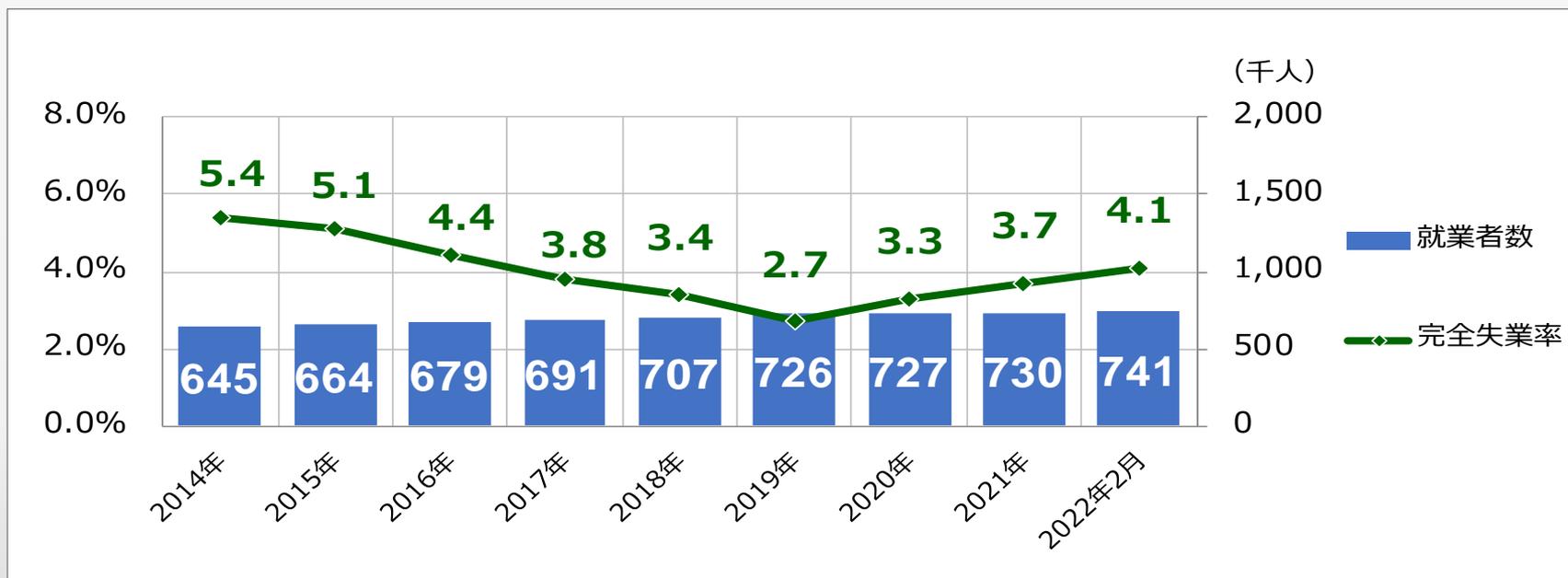
2021年

(出所：沖縄県観光政策課)

新型コロナウイルスの影響により、雇用環境は悪化

- 完全失業率 : 4.1% (前年同月 : 3.7%)
- 有効求人倍率 : 0.86倍 (前年同月 : 0.76倍)
- 就業者数 : 741千人 (前年同月 : 737千人) ※2022年2月現在

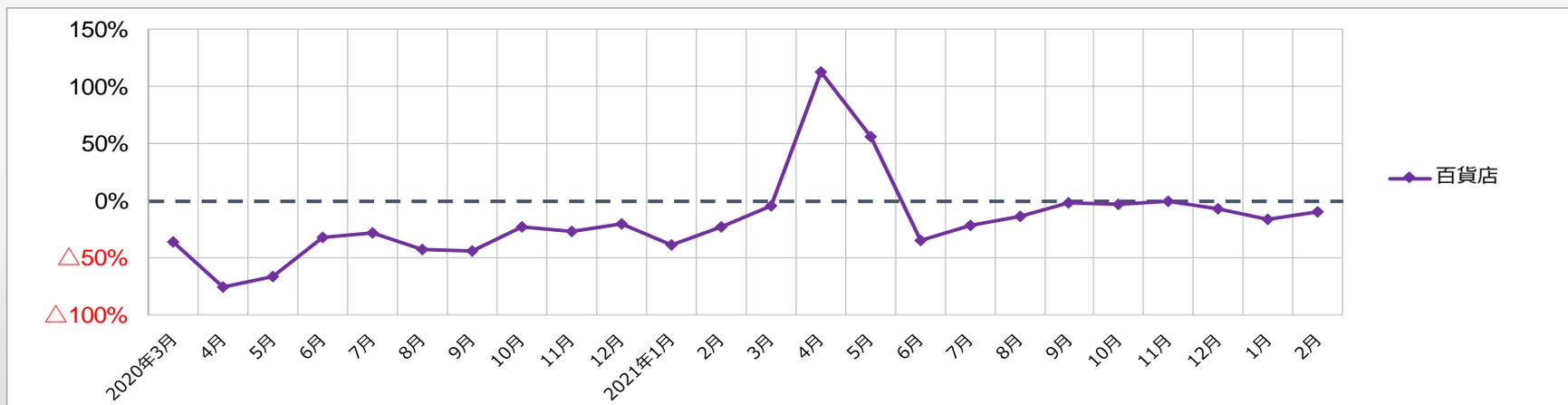
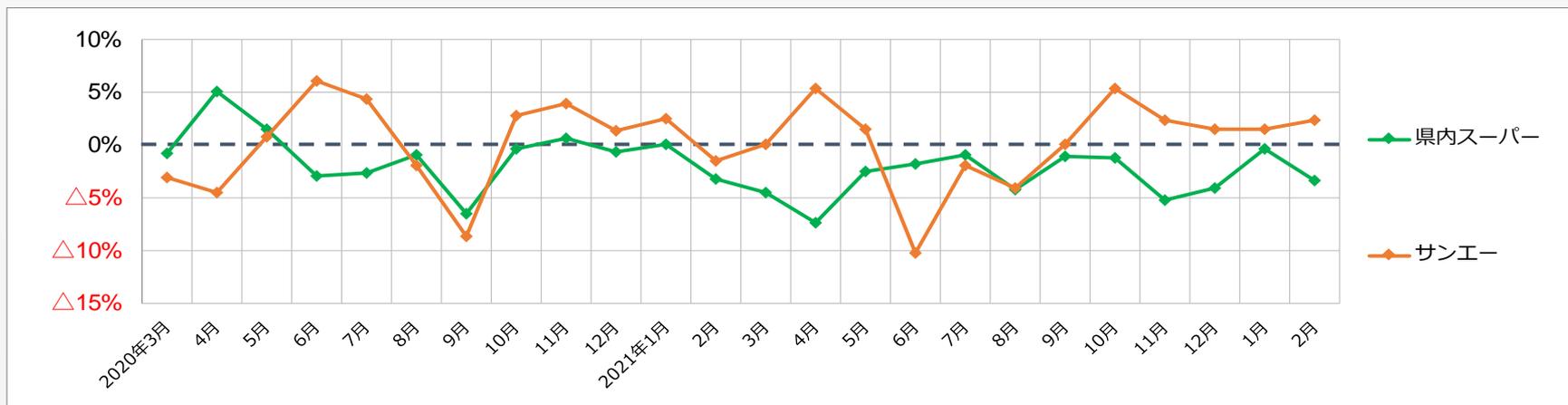
就業者数および完全失業率の推移 (暦年 : 2013年~2022年2月)



(出所 : 沖縄県企画部統計課「労働力調査」)

緊急事態宣言等により、厳しい経営環境

沖縄県内主要小売企業の既存店売上高増減率推移（2020年3月～2022年2月）



※県内スーパー：サンエー除く（出所：(株)りゅうぎん総合研究所「県内の景気動向」）

既存店の活性化（2022年2月期）

アカチャンホンポ（県内2号店目）

ハンビータウン

所在地	中頭郡北谷町
オープン	2021年4月
店舗面積	約1,322㎡



マツモトキヨシ（売場拡大）

宜野湾コンベンションシティ

所在地	宜野湾市字宇地泊
オープン	2021年3月
店舗面積	約347㎡



ハンズ ビー（県内初業態）

石川シティ

所在地	うるま市石川
オープン	2021年9月
店舗面積	約350㎡



既存店の活性化（2022年2月期）

無印良品

しおざきシティ：2021年4月オープン

所在地	糸満市潮崎町
店舗面積	約1,075㎡

豊見城ウイングシティ：2021年9月オープン

所在地	豊見城市高安
店舗面積	約961㎡

那覇メインプレイス：2021年12月オープン

所在地	那覇市おもろまち
店舗面積	約1,347㎡



食品売場への展開

那覇メインプレイス	2021年3月
八重瀬シティ	2021年4月
石川シティ	2021年5月
為又シティ	2021年7月
大湾シティ	2021年10月
マチナトシティ	2022年1月



2022年2月期決算概要



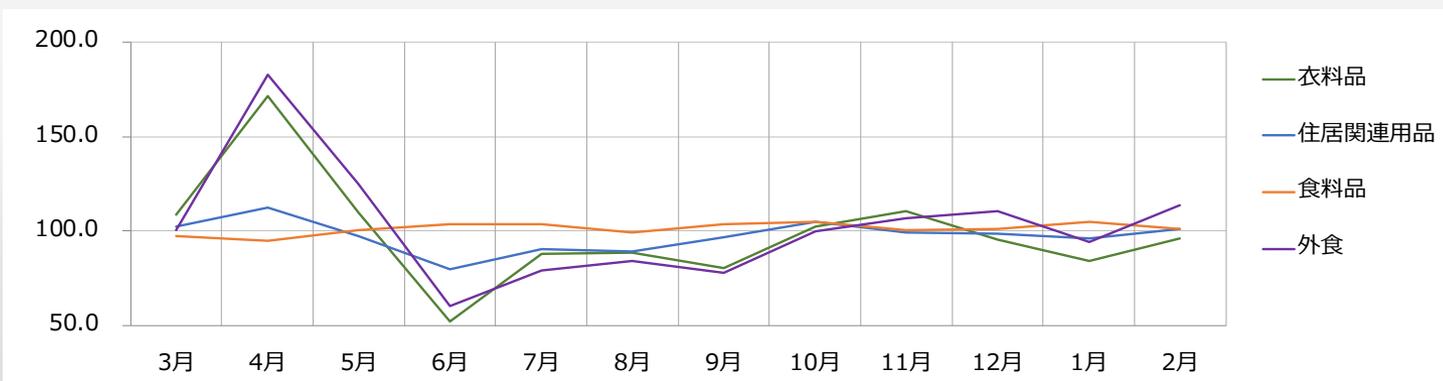
部門別売上高

(単位：百万円・%)

部門の名称		金額	構成比	総合前年比	既存店前年比
小売部門	衣料品	11,207	5.9	94.2	94.6
	住居関連用品	54,414	28.5	99.9	96.7
	食料品	117,839	61.9	102.2	101.1
	外食	6,631	3.5	98.1	98.2
	小計	190,094	99.8	100.9	99.9
CVS		412	0.2	57.1	90.6
売上高合計		190,506	100.0	100.9	99.9

※CVSは直営店舗の売上

部門別売上高前年比の推移（既存店）



2022年2月期決算概要



前期・予算比較（連結）

（単位：百万円・％）

	2022年2月期						2021年2月期	
	実績				予算		実績	
	金額	売上比	前年比	達成率	金額	売上比	金額	売上比
営業収益	204,355	-	100.8	98.2	208,022	-	202,767	-
売上高	190,506	-	100.7	98.6	193,156	-	189,116	-
売上総利益	59,191	31.1	100.8	97.7	60,589	31.4	58,714	31.0
営業収入	13,848	7.3	101.5	93.2	14,865	7.7	13,650	7.2
販管費	64,711	34.0	102.4	99.6	64,980	33.6	63,215	33.4
営業利益	8,329	4.4	91.0	79.5	10,474	5.4	9,149	4.8
経常利益	10,151	5.3	106.3	93.6	10,850	5.6	9,554	5.1
当期純利益※1	6,660	3.5	109.7	92.2	7,227	3.7	6,074	3.2
EBITDA※2	15,840	8.3	92.9	88.7	17,862	9.2	17,058	9.0

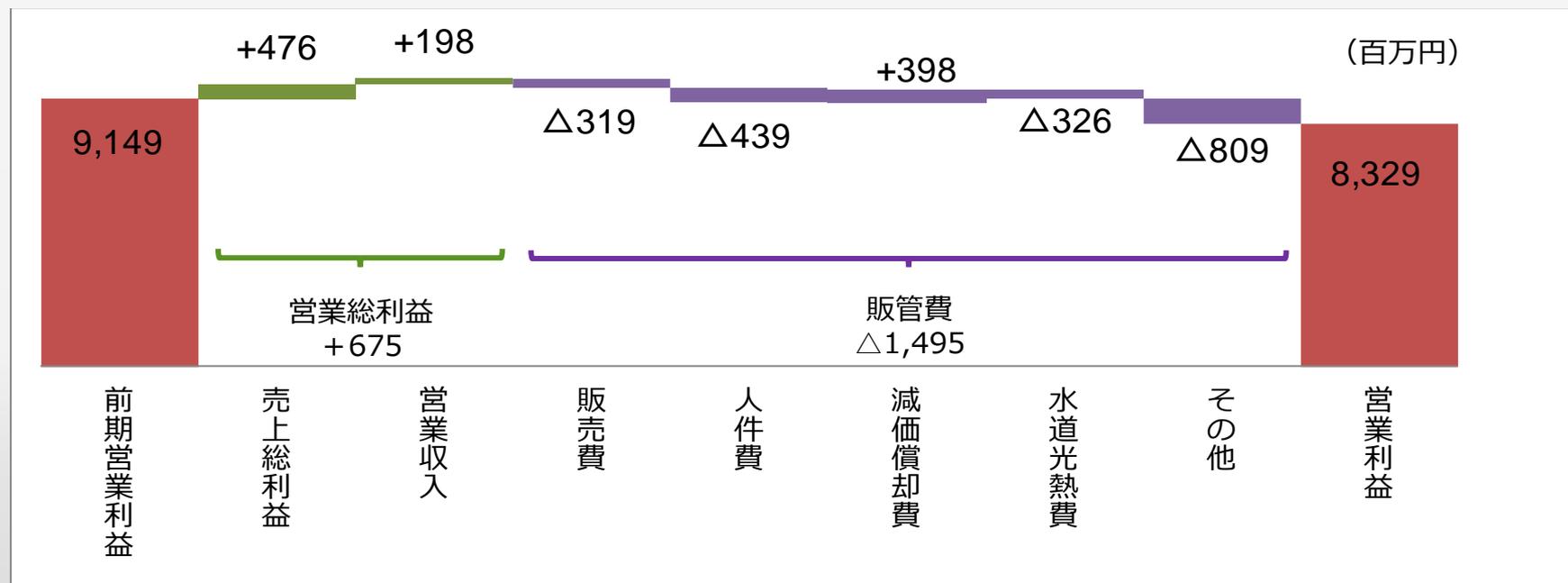
※1：親会社株主に帰属する四半期純利益、※2：EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（定率法）

決算のポイント

営業利益：8,329百万円（819百万円減、91.0%）

- ・ 売上総利益：売上高100.7%、粗利率31.1%（前期31.0%）
- ・ 延べ246日間の時短営業と延べ23日間の大型店臨時休業（土日祝日）
衣料、外食、家電等の売上減少を食品、ドラッグの売上伸長により増収確保
エネルギー価格高騰により水道光熱費が大幅に増加
（年間：326百万円増、上期：47百万円減、下期：374百万円増）

営業利益増減



2023年2月期計画



連結予想

(単位：百万円、%)

	2023年2月期			2022年2月期	
	金額	売上比	前年比	金額	売上比
営業収益	211,021	-	103.3	204,355	-
売上高	195,850	-	102.8	190,506	-
売上総利益	61,049	31.2	103.1	59,191	31.1
営業収入	15,171	7.7	109.5	13,848	7.3
販管費	66,096	33.7	102.1	64,711	34.0
営業利益	10,124	5.2	121.5	8,329	4.4
経常利益	10,421	5.3	102.7	10,151	5.3
当期純利益 ※1	6,956	3.6	104.4	6,660	3.5
EBITDA ※2	17,458	8.9	110.2	15,840	8.3

※1：親会社株主に帰属する当期純利益、※2：EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（定率法）

既存店売上高前年比

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
既存店売上予想	102.4	104.6	103.7	102.3	103.2



- ・ 新型コロナウイルスの影響が薄まると予想（前期影響の反動増）
- ・ 前期リニューアル店舗による売上増加

※上記の既存店売上予想には収益認識基準変更による売上高への影響（年間約△23億円）を含んでおりません。

営業利益予想：10,124百万円（1,794百万円増、121.5%）

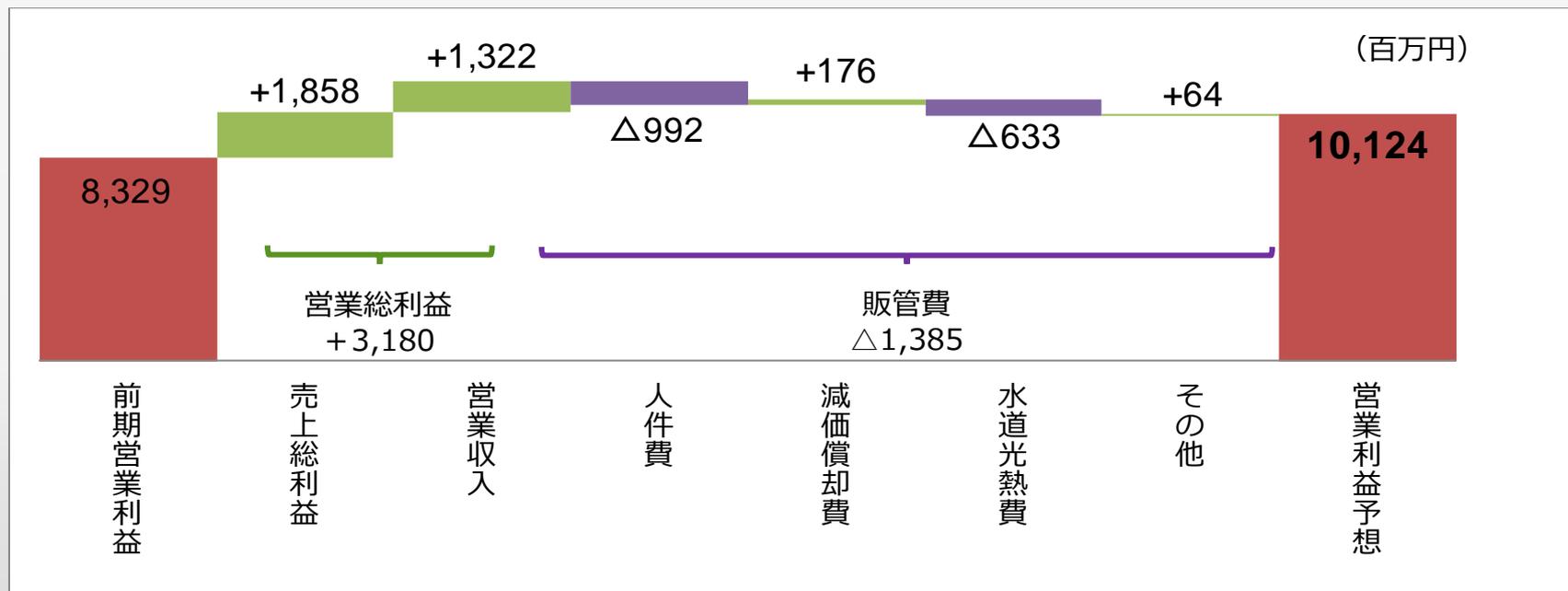
売上総利益：売上高102.8%、粗利率31.2%（前期31.1%）

人件費：昇給及び前期時短営業等の反動増、新規出店による人員増

水道光熱費：エネルギー価格高騰、新規出店等、前年比115%を予想

収益認識基準変更（売上総利益△16億円、営業収入+3億円、その他経費△13億円）

営業利益増減予想



永続性

サンエーにとって永続性が最重要である。

それはお客様の信頼と支持が基本であり、企業として正しい仕組みと強い体質が基礎になる。

時代の変化に伴い変えるべきものは勇気をもって変え、守るべきものは粘り強く磨きをかけて守ることが大切である。

企業の永続は人財である。企業理念を理解し主体性を持って参加し自分の事として気づく考える実行する人である。

サンエー社員一人ひとりが大切な人財である。

サンエーの最大の強みは人財である。

1. 企業理念を理解し七大基本を実行する
2. 店舗力・商品力の向上
3. 仕組み力の向上
4. 人財力の向上
5. 永続性ある企業体質づくり

サンエー宮古島シティ

計画店舗の概要

所在地	宮古島市平良
オープン	2022年6月17日（予定）
業態	総合小売店舗
店舗面積	5,853㎡
駐車台数	530台（予定）



サンエー宮古島シティ イメージパース

サンエーアプリ サービス開始



サンエーアプリ 概要

サービス開始	2022年3月
料金	無料
対象OS	ios 13.0以上 Android 10.0以上
機能	<ul style="list-style-type: none">①デジタルサンエーカード②チラシ・お知らせ③直営レストラン連携<ul style="list-style-type: none">・順番待ち受付・お持ち帰り注文④クーポン利用⑤キャンペーン応募⑥ネット連携<ul style="list-style-type: none">・オンラインショップ・ネット予約・ネットスーパー

※2022年3月1日現在



開始1ヶ月で登録者数10万人超え

サステナビリティ基本方針

私たちサンエーは、「善の発想」と「自主独立」の企業理念のもと、社会やお客様の多様なニーズに対応し、お客様が喜び、社員が輝き、地域とともに会社も成長する、「幸せを共感し、真に信頼される企業」を目指してまいります。

サステナビリティ委員会

委員長：専務取締役 新城 健太郎

委員：各部長

- ・年間実行計画の策定および実行推進
- ・進捗状況および課題事項の確認
- ・情報開示

重点取組み

環境への取組み

事業活動による環境への負荷が最小限となるための取組みを継続してまいります。

- 脱炭素社会の実現：省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用を進めます。
- 3 R 活動の推進：リデュース、リユース、リサイクルを推進し、廃棄物の削減と資源の有効活用に取り組めます。
- 施設の環境緑化：植栽の維持管理により地域環境に配慮した店舗づくりを進めてまいります。
- 環境配慮商品の取組み：地産地消の推進等、環境負荷の少ない商品の販売強化に努めます。

地域社会への取組み

地域の生活を支える小売業として、全てのステークホルダーや地域とともに発展、成長する企業を目指します。

- お客様のニーズにお応えし、人々の生活を豊かにする商品やサービスを提供してまいります。
- 全ての社員が安心して働き続けられる環境を目指します。性別にとらわれず、互いにフォローし合い、安心して働き続け、活躍できる組織づくりに取り組めます。
- 取引先様との公正・適正な取引を推進するため、社員教育や取引先様とのコミュニケーション向上に取り組めます。
- 地域密着企業として、地域の持続的成長や課題解決のため連携して取り組みます。

沖縄県企業売上ランキング（2020年度）

（単位：百万円、％）

	上場	会社名	売上高	業種	前年比
1	○	サンエー	195,398	スーパー	2.5
2		沖縄徳洲会	183,774	病院	27.0
3	○	沖縄電力	180,638	電気	△7.1
4		イオン琉球	88,280	スーパー	△1.2
5		沖縄ファミリーマート	73,994	コンビニエンスストア	△8.5
6	○	沖縄セルラー電話	70,616	携帯電話サービス	8.7
7		金秀商事	61,821	スーパー	△0.8
8		りゅうせき	51,574	石油類卸売	△18.5

（出所：東京商工リサーチ沖縄支店調べ〔銀行等金融機関、損保は除く〕）

- 4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、時短営業や大型店の土日臨時休業等、影響が継続

期間	内容	対応
4/1 ~ 4/11	沖縄県緊急特別対策 (沖縄県による要請)	外食一部店舗を時短営業 (22時閉店 → 21時閉店) ※名護市、石垣市、宮古島市を除く
4/12 ~ 5/22	まん延防止等重点措置	外食全店舗を時短営業 (20時閉店)
5/14 ~ 5/22	沖縄県による大型商業施設への時短要請 (まん延防止等重点措置)	衣料フロア等を時短営業 (22時閉店 → 20時閉店)
5/23 ~ 9/30	緊急事態宣言	①衣料フロア等の時短営業継続 ②外食店舗の時短営業継続
6/5 ~ 6/20	沖縄県による大型商業施設の土日臨時休業要請 (緊急事態宣言)	大型店6店舗の衣料フロア、テナント等を土日臨時休業 (計6日間)
8/7 ~ 8/29	沖縄県による大型商業施設の土日臨時休業要請 (緊急事態宣言)	大型店3店舗の衣料フロア、テナント等を土日臨時休業 (計9日間)

- 4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、時短営業や大型店の土日臨時休業等、影響が継続

期間	内容	対応
9/4 ~ 9/12	沖縄県による大型商業施設の土日臨時休業要請 (緊急事態宣言)	大型店3店舗の衣料フロア、テナント等を土日臨時休業(計4日間)
9/18 ~ 9/24	沖縄県による大型商業施設の土日臨時休業要請 (緊急事態宣言)	大型店3店舗の生活必需品以外の売場、テナント等を土日臨時休業(計4日間)
10/1 ~ 10/31	沖縄県による要請	外食全店舗を時短営業(21時閉店)
1/9 ~ 2/20	まん延防止等重点措置	外食全店舗を時短営業(21時閉店)



IRサイト

<https://www.san-a.co.jp/ir/>

<お問い合わせ先>

株式会社サンエー 経営企画部

TEL : 098(898)2237

FAX : 098(897)2533

本資料は、2022年2月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き2022年2月末現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。